

No.100

あゆい

公益財団法人 会田病院広報誌

2014年1月号

●発行●
(公財)会田病院

●編集●
広報編集委員会

2014年1月10日発行

あけまして
おめでとう
ございます



【表紙】 新年を記念して
作業療法士 糸井 一訓

- 年頭のご挨拶 (理事長 会田征彦) 2 P
- 新年のご挨拶 (小池荘介・星野正美・影山敏男・鈴木洋子) 3 P
- ようこそ診察室へ 4 P
- 地域連携システム (ID-Link) の御紹介 4 P
- 交友会旅行記 5 P
- どこでもメディカルセミナー 5 P
- 健康に良い献立 5 P

- 「あゆい」第100号記念特集 6 P
- Photo News 7 P
- 永年勤続表彰 7 P
- 編集後記 7 P
- 外来診察担当のご案内 8 P
- 無料送迎バスのご案内 8 P
- アクセス・駐車場のご案内 8 P

ホームページ <http://www.aida-hp.or.jp/>

e-mail ahp@aida-hp.or.jp



年頭の「ご挨拶」

「医療人としての自覚を求めて」

理事長・院長 会田 征彦

新年あけましておめでとうございます。平成23年3月11日の東日本大震災から2年10ヶ月が過ぎ、福島県の復興は、まだ遠き道のりの感否めないが、家族と共に迎える正月は、格別の気持ちであろうかとお慶び申し上げます。

会田病院の歴史は明治38年の診療所開設に始まり、109年経過しました。昭和21年の病院設立以来、多くの先輩職員の努力の積み重ねに加え、地域の人達に助けられ、今日の姿がある事に心から感謝申し上げます。貫して全人的医療を続けながら地域社会に貢献していく姿勢などが評価され、昨年4月から公益財団法人会田病院となりました。開設者が掲げ灯した全人的医療の信念を守り、病に苦しみ、救いを求める人々の心に寄り添う診療を継続することで培うことの出来た地域に於ける信頼は、何より価値のある私達の財産であり、今後も更にこれを育てながら、期待される病院づくりに専心努力することが求められております。

当院の基本理念である「患者満足度の高い、良質な医療を安全に提供できる病院づくり」と、地域社会に貢献する「ために今年度の改革実現の目標を以下に示します。

1、良質な医療を安全に効率良く提供できる体制の確立

- 医師、コメディカルをはじめ全職員の資質向上と教育・指導の徹底（人材育成プログラム推進）

- 外来・入院診療体制強化

- 診療録整理（わかり易いカルテ）

- 病病・病診連携促進（医療情報システム共有）

- 在宅医療・介護の充実

2、チームアイダのスタッフ一人ひとりの人間力向上対策

- 社会人としての礼儀、マナーを習得し、感謝の気持ちを表現できる人を目指す。

- 聞く力を培い、謙虚で感謝の心を持つ人（心豊かな人間性）

- 同僚への思いやり、いたわりの心を養う

3、病院のあり方検討

- 病院機能評価審査

- 経営基盤確立に基づく職員満足度向上対策

- ダウンサイジング

4、院内各部門の横断的連携強化によるチーム医療の推進

信頼される確かな医療を行うには、職員一人ひとりの資質向上と各部門のリーダーを中心とした強いチーム力が不可欠なことではない二大要素です。医療人の大切なところがまえば常に謙虚で感謝の気持ちを忘れること無く、人の為になる事を仕事としている日々の姿に誇りを持ち続ける必要があります。

深い悲しみや苦しみを抱えている人に対して、医師をはじめ病院スタッフが、わが親兄弟を思いやるような気持ちで接することで、医療人としての品格をみがき、それぞれの役割と責任を果たしながら日々の業務を実践していけば、明るく愛される病院の未来は約束されると確信いたします。

公益財団法人

会田病院の理念

かけがえない、

ひとり一人の

命と健康を守るために、

最良の医療を提供し、

保健・医療・介護福祉の

充実をはかり、

地域社会に貢献します

会田病院の基本方針

一、患者さんを第一に考え、

地域の信頼を得る

二、基幹病院として、

地域と連携を密にする

三、医療の安全管理に

最大限努力する

四、患者さんの権利と、

その意思を尊重する

五、高い理想を持ちつづけ、

自己研鑽を怠らない

2014年 新年のご挨拶



明けまして
おめでとーございます。



副院長
小池 荘介

年頭に当たって、院内の安全管理委員会の委員長として、抱負を述べさせていただきます。会田病院では、今までも勿論、医療事故防止のため、努めてまいりましたが、今年は、さらに、より安全、安心な病院を目指していきたいと考えております。

このためには、重大事故につながる恐れのある医療現場でのインシデント、アクシデントの発生をさらに減らしていく事が必要であると考えております。それには、インシデント、アクシデントにつながりやすいとされている「にくい」「やすい」「くさい」という言葉で表される医療現場での行為、事柄等を少なくし、働きやすい現場をつくる事が、より安全、安心な病院への道だと思えます。働きやすい病院イコール安全、安心な病院と考えます。今年も努力していきますよう。

今年もよろしくお願い致します。

新年あけまして
おめでとーございます。



副院長
星野 正美

会田病院に赴任したのは、つい先日のように思えますが、早8ヶ月経過してしまいました。赴任当初は仕事の内容もよくわからず、手術予定もなく何をしようというのやらといった感じでしたが、次第に慣れてくると同時に、最近になりやと外科的疾患の症例も増え、少し地に足がついてきた感じがしています。

これもひとえにスタッフの皆様の応援のおかげと感謝しています。

急性期病院としての会田病院のイメージを地域の皆様理解して頂けるよう今年も頑張っていきたいと思っておりますので、本年も協力宜しくお願い致します。



新年あけまして
おめでとーございます。



事務長
影山 敏男

平成26年のスタートです。

それぞれが新年を迎えて決意を固めたと思います。

私も毎年今年こそは、と思うところがいろいろあるのですが、なかなか達成しません。昨年は目標管理についてレクチャーを受けました。自分の目標を、体重管理75キロの維持。現在82キロですから努力が必要ですが、達成できない目標ではないと思います。

1月から計画的に自分の行動で、そのために何をやるか具体的な計画を立て、毎日チェックして成果を1か月ごと発表する。(我が家の大蔵大臣にも)もう一つの目標は、断捨離です。

何時か役に立つだろうと思つて取つておいた不要な物を処分する。これも計画的に予定を立て、着実に進めていきたいと思えます。

数字で表せる目標は具体的に表せますが、数字にできない目標は管理が大変だと思えます。しかし、今必要だから掲げた目標なので、達成するためにお互い頑張りましょう。

病院の目標管理も今年は2年目になります。大きな目標も職員全員が自分の目標を達成することにより、達成することが出来ます。

力を合わせて地域住民の健康を守るために今年も頑張りましょう。

新年あけまして
おめでとーございます。



看護部長
鈴木 洋子

2014年が皆様にとって幸多き年となりますように、また、平穏な1年であることを心から願っております。

昨年は看護師の人材育成とキャリア開発に力を注ぎ、そして皆様に選ばれる病院づくりを目標に「心のこもった看護を優しい笑顔で」をテーマに取り組んで参りました。

今年は「やさしさ」と信頼をテーマに職員一人ひとりを大切に、看護職として人として幸せに働き続けられるそんな看護部づくりを目指します。さらに、メリハリ(緩めることと張ることを区別する)をキーワードに働きやすい職場を目指し努力していく所存です。

会田病院の益々の発展に向けて病院長はじめ多くの方々の指導をいただきながら、組織やスタッフのニーズに対応できるように看護部の体制を整え、精進して参りたいと思えます。また、高齢化社会に伴い、ますます看護職員の需要が増大してきます。高い志と誇りを持って患者様の期待に応えられるように看護力を高められていくように、さまざまな取り組みを通じ、地域に根ざした中枢病院として患者様やご家族様の方々に信頼され、安心していただける医療、看護、介護が提供出来ます様努力して参ります。今後とも皆様の温かい支援、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

ようこそ 診察室へ

本年度10月より当院内科に勤務することとなりました。本定三季と申します。平成19年に医師免許を取得し、その後東京医科大学消化器内科に入局し、主に胆道・膵臓疾患における内視鏡治療を学んでおります。

……と、かなり硬い前置きになってしまいましたがおなかの症状でお困りの際には、なんでもご相談いただけるとお役にたてるかと思えます。

また当院では本年度から最新の内視鏡設備が導入され、より詳細な検査ができるようになりました。早期がんなど症状がない病気に対し、こうした最新機器を駆使し早期発見・治療することでも地域の皆様に貢献したいと思っております。何卒よろしく御願い致します。



消化器内科 医長
本定 三季
ほんじょう みつよし

平成25年10月1日より当院内科に勤務することとなりました小川紗織です。平成20年に東京医科大学を卒業し、東京医科大学病院に勤務致しておりました。専門は消化器内科です。

当院に着任してまず驚いた事は、設備の良さでした。中でも我々消化器医が携わる機会の多い胃カメラ・大腸カメラに關しましては、他の病院でもまだまだ目にする機会の少ない、最新の設備がそろっております。これにより検査時間が少しでも短縮され、検査を受けられる患者様の苦痛軽減と、また詳細な検査のお役に立てると感じております。「日々自学自習」を心得、仕事に励んでまいりたいと思っております。よろしく御願い致します。



消化器内科 医員
小川 紗織
おがわ さおり



地域連携システム(ID-Link)の御紹介

地域連携システムとは、病院やクリニックまたは診療所をインターネット回線や専用回線を通して、患者様の情報をやり取りする為のシステムです。初めて行く病院などで受付の際によく言われる「紹介状」は、診療を行う上で大切な情報が記載されています。その情報をいち早く知ることが出来るのがこのシステムです。当院でも導入する運びとなり、これにより患者様への負担が少しでも取り除けたらと思います。ただし、情報源である患者様本人の同意が必須となりますので、スムーズな連携を行う為にも御協力をお願い致します。

医療情報室 松村 慎哉

地域の各医療機関が持っている処方や検査、レントゲン画像等の患者さんの診療情報を、セキュリティ対策を万全に



施したインターネット網で共有するのが今回導入される地域連携システムです。

医療機関同士の診療内容の伝達漏れを減らし、重複した投与・検査の無駄を防ぐ効果が期待できますので、患者さんにも安心して受診いただけます。

株式会社エヌイーシー
医療システム事業部 システム部
盛長 志朗

部内の研修に 利用してみてもいいかがですか?

「いつでもメディカルセミナー」をご存じですか？
これは、「公益財団法人星総合病院」が行っている他医療機関向けの勉強会で、様々な職種の方が講師を務め、依頼のあった医療機関に出向し開催していただけるものです。
今回、検査科が初めて受講したのですが、「グラム染色方法についてのテーマで、臨床検査技師4名が来院され実施していただきました。」
当院では細菌検査は外部委託のため、グラム染色を行う機会がほとんどなく、基本的な内容を実技中心で行っていただきました。
丁寧な指導のもと、スタッフからは「解りやすかった」と好評で、来年度の検査科内研修会も別のテーマで受講したいとの意見が多くでました。

セミナーは他にも「医療安全」「看護」「在宅ケア」「リハビリ」「事務関連」なども実施しているようです。
同じ職種の方からの講義に大いに刺激を受けました。
検査科係長
堀金 博子



交友会 旅行記

10月5・6日に、泊二日で平泉・男鹿方面の旅行に参加しました。大型バスに13名と、贅沢な、けれど若干寂しい人数でしたが、各名所での散策、買い物でのお喋り、そして夜のなまはげ太鼓ライヴなど、大変楽しく過ごすことが出来ました。
旅行先の地元、そこで頑張っている若者達を応援したくなる、そんな旅だったようにも思えます。また、旅行が行なわれる際には、より大勢の職員で、そんな体験ができたら素敵だなと考えます。
放射線科 高木 敏光



健康によい献立 栄養科

もち米いらす! 『大根もち』

今回は、冬野菜の代名詞。大根を使った大根もちをご紹介します。

大根もちは、飲茶の代表的なメニューで、一般的には大根を千切りにして、干しえびなどと上新粉を加えて練りあわせ蒸した物です。正式なレシピは手間がかかりますが、家庭で手軽にできて本格的な味わいが楽しめるレシピで今回は紹介させていただきます。

そんな大根の旬は11～2月。一年を通じて手に入れることが出来ますが、寒い時期のほうは甘みがありみずみずしく、春夏に出回るものの方が辛味が強いと言われています。

また、大根には穀類やイモ類を分解する成分が多く含まれており、消化を助け、胃酸過多、胃もたれや、胸やけなどに効果があります。

年末年始の疲れた胃腸にぜひお試しください。

【作り方】

- ①大根をすりおろし、軽く水気を切ります。
- ②長ねぎは小口切りに。
- ③水気を切った大根おろしに薄力粉、片栗粉、長ねぎ、桜えびを入れよく混ぜます。
- ④フライパンにごま油を入れ、③を小判形にし並べ両面焦げ目がついたら皿に盛りつける。
- ⑤鍋にめんつゆ、水、ごま油を合わせ煮立たせて④にかけて完成。

☆タレは酢醤油、醤油+ラー油、にんにく醤油などお好みでどうぞ。



【材料】(1人分)

- 1人分のエネルギー152cal
- 塩分1.1g

大根おろし(水を切った状態)……100g
長ねぎ……………1/4本
桜えび……………お好みで
薄力粉……………大さじ1
片栗粉……………大さじ1/2
ごま油……………適量

<タレ>

めんつゆ(3倍濃縮)……………大さじ1
水……………大さじ1
ごま油……………小さじ2

「あゆり」
第100号
記念特集

おかげさまで「あゆり」第100号刊行

昭和61年1月(第1号)の刊行から会田病院の歴史と共にあゆみ続けて「あゆり」も今年で28年目へ入りました。これもひとえに読者様のおかげと感謝しております。

2014年最初の刊行が第100号と言う節目を迎え、より一層充実した誌面作りを心掛けてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



↑新外来棟(平成23年10月)

表紙でみる「あゆり」の歴史(抜粋)



↑「あゆり」第1号刊行当時の会田病院(昭和61年)



昭和62年 4月 第16号 表紙



昭和62年 7月 第19号 表紙



昭和62年 8月 第20号 表紙



昭和62年 11月 第22号 表紙



平成元年 5月 第29号 表紙



平成7年 1月 第39号 表紙



平成15年 1月 第56号 表紙



平成17年 7月 第66号 表紙



平成20年 4月 第77号 表紙



平成21年 1月 第80号 表紙



平成22年 4月 第85号 表紙



平成23年 5月 第89号 表紙



3月11日 東日本大震災発生
遅れながらも「あゆり」刊行



平成23年 7月 第90号 表紙



平成24年 10月 第95号 表紙



平成26年 1月 第100号 表紙

会田病院と「あゆり」の歴史(抜粋)

明治 38年(1905年) 9月	会田医院 開院	
昭和 21年(1946年) 1月	会田病院 開院	
28年(1953年) 1月	財団法人会田病院と改組、62床	
42年(1967年) 8月	厚生省より救急病院指定	
60年(1985年) 9月	人工透析新設	
61年(1986年) 1月	あゆり第1号刊行	
61年(1986年) 5月	救急センター5階建新築(2,887.8㎡) 一般病棟163床、結核病棟44床 計207床	
63年(1988年) 6月	総合整備基本計画第2期病棟新設 一般病棟219床、結核病棟44床 計263床	
平成 元年(1989年) 5月	あゆり第29号刊行	
5年(1993年) 3月	すみれ老人訪問看護ステーション開設	
11年(1999年) 3月	一般病床配置変更 219床より199床へ	
14年(2002年) 1月	すみれ介護相談センター(介護居宅支援事業所)開設	
15年(2003年) 5月	ヘリカルCT導入3病棟を療養型病棟へ変換	
16年(2004年) 11月	会田病院ヘルパーサービス(訪問介護)開設	

平成 17年(2005年) 6月	マンモグラフィ導入(東芝製) リハビリテーション棟新築 病棟・病床配置変更 一般病棟(2棟)102床、 療養病棟(2棟)91床、計193床
18年(2006年) 4月	会田通所リハビリテーション開設
19年(2007年) 9月	マルチスライス CT(東芝製・4列)導入
21年(2008年) 3月	マンモグラフィ検診施設認定
22年(2009年) 11月	回復期リハビリテーション病棟を配置(42床)
23年(2011年) 3月	11日 午後2時46分 東日本大震災発生
23年(2011年) 5月	あゆり第89号刊行
23年(2011年) 10月	外来棟新築 会田病院ロゴデザイン変更 マルチスライス CT (GE製・16列) 導入
24年(2012年) 10月	MRI 導入 (GE製・1.5テスラ)
25年(2013年) 4月	公益財団法人取得
26年(2014年) 1月	あゆり第100号刊行

Photo News



10/17(木)
消防署立入検査



11/6(水)
自衛消防訓練



11/7(木)
聖和幼稚園児訪問



11/27(水)
県南地域医療安全研修会



12/10(火)
医療安全研修会



12/20(金)
3病棟クリスマス会



12/20(金)
交友会 忘年会



12/25(水)
矢吹小学校吹奏楽部演奏会



1/6(月)
月例会

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
今年もよろしく願っています。
昨年は皆様にとつてどのような一年でしたか？
スポーツ観戦が好きな私はなんととってもプロ
野球、東北楽天イーグルスが日本一になったのは
嬉しかったですね。東北がとても元気になったよ
うに感じたのを覚えています。
2014年となる今年も大きなスポーツイベン
トがあるので今から楽しみです。とくに6月から
のサッカーW杯ブラジル大会は寝
不足になりそうですが、サムライ
ジャパンを応援したいと思います。
もし日本が優勝したら・・・じえ！
じえ！じえ！」ですね。
(G・S)



永年勤続表彰

平成25年度永年勤続表彰式が12/20(金)に行われ、勤続
10年5名、20年5名、30年2名に感謝状と記念品が会田
理事長より贈られました。
表彰者12名を代表して、堀金博子(検査科係長)が謝辞を
述べ、さらなる病院への貢献を誓いました。



外来診察 担当のご案内

受付時間

平日

土曜

お問い合わせ TEL 0248(42) 2121

※診療日や診察時間が変わる場合がありますので、
詳細はお問い合わせください。

午前8:30～11:30

午前8:30～11:30

午後1:00～ 4:30

平成26年1月1日現在

※福島医大・福島県立医科大学

科	曜日	診察部屋番号	月	火	水	木	金	土	備考
内科	1 診	A1	小池 莊介	河野 知典	井上 善英	香取 文隆	小池 莊介	小池 莊介	草野医師診察日 月1回
	2 診	A2	星総合病院	小川 紗織	本定 三季	草野 英二 本定 三季	河野 知典	香取 文隆	
	3 診	A3	水上 潤哉						
	午後	A2	河野 知典	河野 知典	垣花 昌俊	萩原 優	及川 武史		草野医師来院時 本定医師休診
	午後	A2			吉澤 寛道 今井 利美				
呼吸器科	午前	A3	会田 征彦	会田 征彦	垣花 昌俊	萩原 優	及川 武史		
心療内科	午前	A5				野村 邦朗			隔週診察
外科	午前	A6	星野 正美	星野 正美 五十嵐 涉	古河 浩 五十嵐 涉	福島医大 星野 正美	五十嵐 涉	星野 正美 五十嵐 涉	五十嵐医師 第3水曜日診察
	午後		星野 正美	星野 正美 五十嵐 涉	古河 浩 五十嵐 涉	福島医大 星野 正美	五十嵐 涉		
整形外科	午前	A7	長谷川美規	湯澤 斎	真野 英寿		会田 北斗	会田 北斗	火曜 月2回 土曜 月2回
	午後						会田 北斗		金曜 午後 月2回
眼科	午前/午後	A8	吉澤 哲也	宮下 博行			須田 雄三		
泌尿器科	午前	A11	福島医大					穴戸 俊英	月曜 第2・4のみ (予約) 穴戸医師診察日 月2回
	午後		福島医大						
脳神経外科	午前	A5		伊澤 仁之	阿部 琢巳		泉山 仁		
皮膚科	午前/午後	A10			沼田 貴史				
婦人科	午前	A12		岩佐 秀一		高崎 克哲			高崎医師 第2・4木曜日 診察
	午後					高崎 克哲			
形成外科	午前	A10	上田 和毅						
リハビリテーション科	午前	リハビリ棟 2階	中山 勝司	中山 勝司	阿部 琢巳	小川 紗織	会田 健太 本定 三季	小川 紗織	
	午後		梶野 龍平	桑島 淳氏	阿部 琢巳	星野 正己	泉山 仁		

公益財団法人

会田病院

理事長 会田 征彦

〒969-0213

西白河郡矢吹町本町216番地

TEL 0248 (42) 2121

FAX 0248 (42) 2348

併設

健診センター

〒969-0213

西白河郡矢吹町本町216番地

TEL 0248 (42) 3592

FAX 0248 (42) 2226

併設

すみれ訪問看護 ステーション

〒969-0213

西白河郡矢吹町本町198番地

TEL 0248 (44) 2566 (FAX 兼)

指定居宅療養管理指導
事業所(往診)

TEL 0248 (42) 5407

併設

すみれ介護相談 センター

〒969-0213

西白河郡矢吹町本町198番地

TEL 0248 (42) 3755

FAX 0248 (42) 3781

併設

会田病院 ヘルパーサービス

〒969-0213

西白河郡矢吹町本町198番地

TEL 0248 (42) 2305 (FAX 兼)

併設

会田通所 リハビリテーション

〒969-0213

西白河郡矢吹町本町260番地

TEL 0248 (42) 2260

FAX 0248 (42) 2135

アクセス・駐車場のご案内



無料送迎バス のご案内



●送迎バスをご利用される方は、
お電話にて予約をお願いします。
安全運転でお迎えいたします。

予約 月～金 13:00～16:30
時間帯 土 9:00～12:00

TEL 0248 (42) 2142 (運転部)

※時間とおりの運行を心がけておりますが、道路状況により
多少遅れることがあります。あらかじめご了承ください。